

遊技産業活性化プロジェクト

全日遊連、日工組と協議

日遊協、遊技機キャンペーンで

全日遊連、日遊協、日工組の3団体は6月21日、東京・市谷の全日遊連本部で「現行遊技機に関する打ち合わせ」会を開いた。日遊協は遊技産業活性化プロジェクトを進める中で、ファンが気軽に楽しめるように設置に前向きとなるような遊技機（パチンコ）の開発と市場定着のための話し合いを全日遊連、日工組に呼びかけ、一方、全日遊連も日工組とECO遊技機の打ち合わせを行う中で現行遊技機を見直してファン拡大を図る方策を検討していたため、3団体の会合が実現した。今後も継続的に開かれる予定。

この日は第1回会合として3団体から幹部クラス17人が出席した。3団体は、対策は急を要すること、業界挙げて取り組む必要があること、わかりやすい機械であること等で一致した。

その上で、日遊協はキャンペーン第1弾として羽根物を対象に秋

口から来春にかけて展開することを提案した。日遊協は、羽根物に絞った理由の1つとして「業界が本気で遊技機の刷新へ舵を切ったことを印象づけるため」とし、店の中でコーナー設定がきちんとできるようにして、とくにスリープ層を奪回したいとしている。

また、第2弾では遊パチについて考え方を整理し、正しい機種を確定した上で、キャンペーンを展開したらどうかとしている。

一方、全日遊連は「羽根物とかセブン機とかに特化する前に、ファンを増やすために何をしなければいけないのかを共通認識にして、他の機械についても同時進行で議論すべき」としている。

また、日工組からは、現在スリープ層をターゲットにした遊技機の開発に重きを置いていることが報告された。

おもな出席者は次の通り。

(敬称略)

〔日工組〕渡辺圭市(理事)

〔全日遊連〕阿部恭久(副理事長)

伊坂重憲(機械対策委員長、竹田隆

(同副委員長)、玉川昌範(同)、吉原丈

司(専務理事)、西俊文(事務局長)

〔日遊協〕庄司孝輝(会長)、大久保

正博(副会長)、内藤裕人(遊技機委員

長、茂木欣人(遊技産業活性化PT)、

篠原弘志(専務理事)

「フェスタ」をゴールに

PTで大枠のスケジュール

遊技産業活性化PTは6月7日、日遊協本部会議室で開かれた。大きなテーマを「遊べる遊技機」に

置き、第1弾として羽根物を主体

としたキャンペーンを行う方向で、

日工組、全日遊連、日遊協の3者

で構成する遊技機検討会(6月21

日)に臨むことを決めた。日遊協

としては、準備期間を6~9月に

置き、秋口からキャンペーンを開

始して来春の「パチンコ&パチス

ロフェスタ2014」を1つのゴ

ールにしたいとしている。

出席者は次の通り。(敬称略)

深谷友尋(会長)、安藤利彦、大久保

正博、兼次民喜、庄司孝輝、韓裕、福

井章、山田久雄(以上副会長)、茂木

欣人(風営法PTリーダー)、篠原弘

志(専務理事)、伊東慎吾(常務理事)

景品関連促進PT

6月16日

本部会議室

出席委員等8人

中間レポート作成へ

景品の持ち帰り促進

お客様に喜んでもらう魅力ある景品の開発、景品持ち帰り促進のための環境整備について協議した。今後のPTの運営について話し合った。問題点をいったん整理して中間レポートにまとめ、その後は執行部の指針に沿って作業を進める方向を確認した。



羽根物キャンペーン等を協議した遊技産業活性化PT

来年4月25、26日確定

パチンコ&パチスロ
フェスタ2014

6月18日
本部会議室
出席委員等13人

「パチンコ&パチスロフェスタ2014」は来年4月25、26日の2日間、東京・秋葉原のベルサル秋葉原で開催することで固まった。当初、同じ会場で2月に開催する方向で進められていたが、秋葉原の若者層をターゲットにする場合、暖かくなつてからのほうが集まりやすいのと、4月なら出展を要請される遊技機メーカーにとつても準備に多少の余裕が生まれることなどから、2か月ずらすことになった。1日目は業界関係者向けで、遊技機アワードの表彰式も合わせて行う。2日目は一般ファン、休眠中の元ファン、初めての人たちに来てもらうため、イベントを考える。展示機種については、羽根物が挙がっ

ているが、その他の機種も対象にフリートーキングを行った。前回のフェスタは昨年6月1、2日にベルサル秋葉原で行われ、2日間で4626人を集めた。

広報調査委員会

6月14日
本部会議室
出席委員等14人

進捗に対応してPR 「活性化プロジェクト」

遊技産業活性化プロジェクトについて進捗状況が報告され、今後PR活動について具体的な動きに対応して協力していくことを確認した。プロジェクトは近く遊技機検討の小委員会がスタートし、来年4月の「フェスタ」を一つの到達点としているので、プロジェクトの要望に応えながら段階的にPRを検討していく。

第3回エッセー・絵手紙コンクールについては、6月13日の日遊協総会で最優秀作品の2人が表彰され一区切りが付き、総括と次回の在

り方を検討した。作品の質や一般の知名度に問題があると指摘された一方、作品や表彰にそれなりの意義があり十分継続の価値があるという意見も出された。エッセーや絵手紙以外のコンクルールの可能性も検討されたが、特に新しい案は出ず、次回のコンクールについてはさらに協議を進めることになった。

社会貢献・環境対策委員会

6月12日
本部会議室
出席委員等13人

今後の省エネで協議

5月17日に行われた「仙台共生の森」の植林と、翌18、19日に行われた宮城県南三陸町のボランティア活動の結果が報告された。(本誌6月号で既報)

ホール5団体会議小委員会環境実務者会議がまとめた、今後の省エネ対策が報告された。ホールの省エネ対策は順調に推移し、今夏の節電についても数値要請はないが、パッシングを避けるためにも、委員会として新しい取り組みをホール5団体に提案していくべきとの意見があった。委員会としては、今後、エコホール宣言の結果検証と低酸素社会実行計画推進策の検

人材育成委員会

6月14日
本部会議室
出席委員等6人

「最新採用情報」テーマに 7月19日「育成フォーラム」

討を見守る。エコホール宣言については2012年度で終了し、全日遊連が現在アンケート集計中で、宣言の正否は年末までに出る予定となっている。

日遊協会員企業の人事担当者を対象にした、第8回人材育成フォーラムを7月19日、日遊協本部会議室で開催することを確認した。「採用担当者のための最新採用情報&取り組み事例」をメインテーマに、採用・育成のコンサルティングの他、国内外300社以上の採用事例を紹介するブログを執筆している(株)コヨーテ代表取締役、菊池龍之氏が最近の採用情報について講演する。その後、参加各社の取り組み紹介やフリーディスカッションが行われる。11月21、22日に予定される「第7回遊技産業マネジメント・カレッジ」の講演者の人選を行い、候補者を2人に絞った。7月中の決定を目指すことになった。



◀「パチンコ&パチスロフェスタ2014」の内容等を協議した遊技機委員会